

保守とお手入れのしかた



必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因になります。

- ◇器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー、ベンジン等揮発物で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色・破損の原因となります。
- ◇汚れがひどい場合は、やわらかい布を中性洗剤に浸し固くしぼってふき取り、やわらかい布で乾拭きしてください。
- ◇金属磨き、サンドペーパー等はきぐを痛めますので使用しないでください。
- ◇ガラス、陶器類はこわれやすい材料です。乱暴に扱わないでください。
- ◇引きひも付きの器具は、引きひもをゆっくり操作してください。急に引っ張ったり、はじいたりしないでください。
- ◇LEDの光色・明るさには若干の個体差があります。あらかじめご了承ください。
- ◇明るく安全に使用していただくために、器具を定期的に（6か月に1回程度）清掃、点検してください。
- ◇本製品はLEDランプの交換は出来ません。修理等のお問い合わせはお買い求めの販売所又は最寄の弊社営業所までお問い合わせください。
- ◇ランプが点灯しない場合は次のことをご確認ください。
 - ・スイッチが入っているか？
 - ・コネクタが確実に接続されているか？
 - ・調光ボリュームが絞られていないか？



お読みになりましたら、この取扱説明書は、いつでも見られる所に、大切に保管してください。

アフターサービスのお問い合わせ



商品に関するご相談およびお問い合わせは、器具本体の表示に書いてある型番をご確認のうえ、お買い上げいただきました販売所・工事店へお気軽にご連絡ください。部品についてのお問い合わせは、「部品名称」のイラストをご参照ください。

お客様相談窓口

ナビダイヤル  0570-550-575
(全国共通番号) 

受付時間（土日祝を除く）10：00～17：00

通話料はお客様のご負担となります
PHSからは接続できません

<http://www.yamagiwa.co.jp/>

取扱説明書

LED ARMLIGHT

このたびは、YAMAGIWAの照明器具をお買い上げくださり誠にありがとうございます。
この説明書をよくごらんの上、正しく取り付け、正しくご使用ください。
お読みになりましたら、この取扱説明書は大切に保管してください。



目次

- 1ページ：照明器具の取付（施工）についての安全上のご注意
- 2ページ：部品名称と取付方法、定格表
- 3ページ：照明器具ご使用についての安全上のご注意
- 4ページ：保守とお手入れ、アフターサービスのお問い合わせ

保管用
取説No. 60S045A1

ご不明な点がありましたら
販売店にご相談ください。

照明器具の取付（施工）についての安全上のご注意

警告

| | |
|--|--|
| | 火災のおそれがあります ◇電源接続の際は、取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。 ◇電気工事は電気設備技術基準及び内線規程にしたがって確実に行ってください。 |
| | 落下によるけがのおそれがあります ◇取付は取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。 ◇器具の取付けは、取付場所の強度を確認し、質量に耐える所に確実に行ってください。 強度が不足している場合は、補強工事をしてから取付けてください。 |
| | 感電のおそれがあります ◇工事が完了するまでは、必ず電源を切っておいてください。 ◇アース工事が必要な器具は電気設備基準及び内線規程にしたがって確実に行ってください。 |
| | 火災のおそれがあります ◇器具と被照射面との距離に指定のある器具は、指定距離より近くに取付けしないでください。 |
| | 落下によるけがのおそれがあります ◇取付部まわりに極端な突出部のある面には取付けしないでください。 |

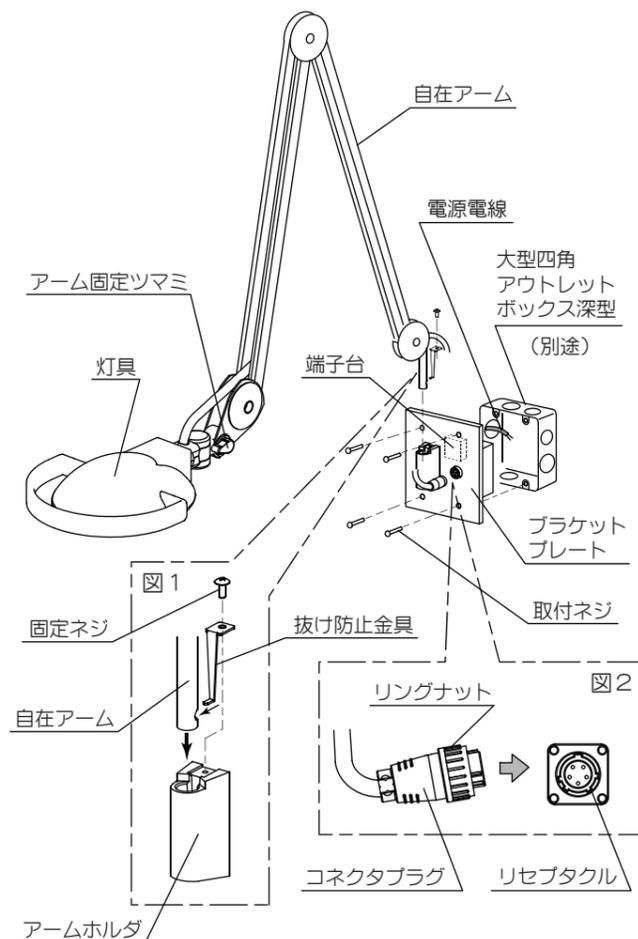
注意

- ◇電気工事は電気工事店（有資格者）におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。
- ◇施工は取扱説明書にしたがって確実に行ってください。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- ◇取付面の壁紙、クロス貼り等の接着剤が十分乾燥してから器具を取り付けてください。
メッキや塗装の変色や、さびの原因となります。
- ◇表示された電源電圧（定格電圧±6%）以外の電圧で使用しないでください。感電・火災の原因となります。
- ◇器具の使用環境温度は5～35℃、湿度85%以下の場所に設置してください。高温、高湿度の環境で使用すると火災の原因となります。
- ◇本製品は屋内使用器具です。屋外では使用しないでください。感電・火災の原因となります。
- ◇器具を無理に回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。
器具落下によるけがの原因となります。
- ◇器具を改造しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- ◇グローブ、セード及びランプの着脱は、両手で静かに扱い、取付は確実に行ってください。落下によるけがの原因となります。

お願い

電気工事店様へ…工事が終わりましたら、この取扱説明書を、必ずお客様へお渡しください。

部品名称と取付方法



- 取付前の確認
 - 本製品は必ず照明用壁スイッチ（別途）を設けてください。
 - 取付面は器具質量に耐える強度を確保してください。
- 大型四角アウトレットボックス深型（別途）を取付面に施工し、電源電線を引き込んでください。
※電源電線は必ず側面のノックアウト穴より引き込んでください。（器具との干渉を防ぐため）
- 電源電線を端子台に挿入してください。（図4）
※必ず指定の電線を使用し、指定のむき代で確実に奥まで差し込んでください。
- ブラケットプレートを付属のネジ（4本）でアウトレットボックスに固定してください。
- 自在アームに抜け防止金具をセットしてアームホルダに挿入し、固定ネジで抜け防止金具を固定してください。（図1）
- コネクタプラグをリセプタクルに挿入し、リングナットを回して固定してください。（図2）
・セット後コネクタが抜けない事を確認してください。
- 電源を入れ、点灯確認を行なってください。
壁スイッチをONにしてから、灯具側ON-OFFスイッチを押して点灯することを確認してください。
※壁スイッチを入れる際は必ず、灯具側スイッチをOFFにしてから行ってください。
※灯具側スイッチがONの状態で壁スイッチを入れると、正常に点灯しない場合があります（点滅する）
その際は灯具側スイッチを一旦OFFにして、再び押す（ONにする）と正常に点灯いたします。

明るさの調整

調光ボリュームをまわすことで明るさを調整することができます。
※調光ボリュームでは電源を切ることはできません。
電源を切るときはON-OFFスイッチを操作してください。（図3）

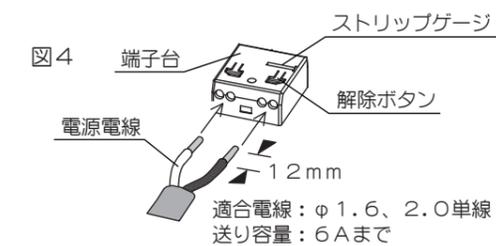
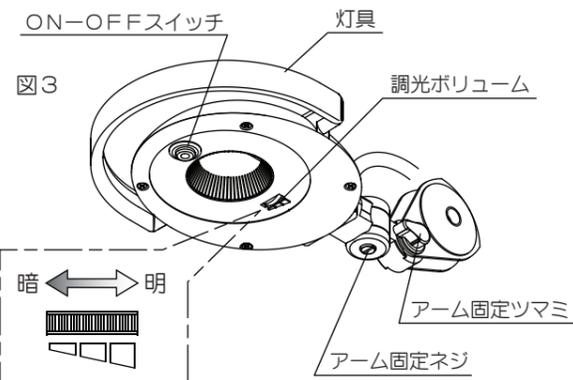
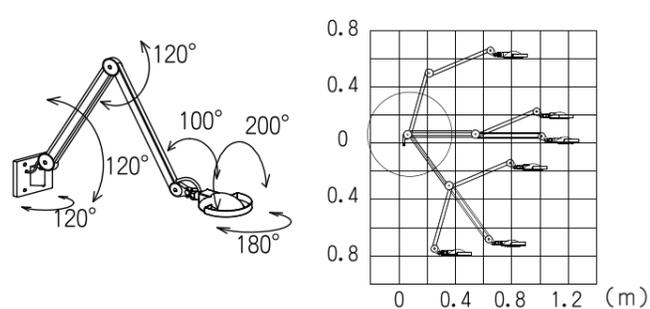
灯具の調節方法

灯具部の可動角度（上下左右）の保持力はアーム固定ツマミ及びアーム固定ネジで調節することができます。
灯具部の可動を繰り返すことで、保持力が低下した場合は、それぞれのネジを締め直してください。（図3）

長時間使用しない場合は

待機消費電力を抑える為、壁スイッチをOFFにしてください。

●灯具及び自在アームの可動範囲



定格表

| カタログ番号 | 型番 | 定格電圧 周波数 | 入力電流 | 入力電力 | 定格・適合ランプ | 質量 |
|--------|--------------|-------------------|-------|------|--------------------------|-------|
| S7414W | 60MK-17B3-AW | AC100V 50/60Hz | 0.15A | 15W | LED 12W×1 (温白色 3500K) | 3.0kg |

照明器具ご使用についての安全上のご注意

⚠ 警告

| | |
|--|---|
| | <p>火災のおそれがあります</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇器具を布・紙等でおおったりしないでください。 ◇揮発物等の燃えやすいものに近づけないでください。 ◇器具と被照射面との距離は30cm以上はなして使用してください。 ◇断熱材・防音材でおおわないでください。 |
| | <p>やけど・けがのおそれがあります</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇点灯中および消灯直後のランプおよびその周辺はさわらないでください。 ◇可動部に指などを入れないでください。 |
| | <p>感電・火災のおそれがあります</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇器具及び部品の改造をしないでください。 ◇器具のすきまに、異物（金属類や燃えやすい物等）を差し込まないでください。 ◇ぬれた手で器具にさわらないでください。 |
| | <p>感電・火災のおそれがあります</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇異常時（煙が出たり、変な臭いがする等）には、速やかに電源を切ってお買上げの販売店にご相談ください。 ◇器具のお手入れの際には必ず電源を切ってください。 |

⚠ 注意

- ◇器具の近くに温度の高くなるストーブや発熱体を置かないようにしてください。器具の変形や火災の原因となります。
- ◇器具を無理に回転させたり、振動や衝撃を加えたりしないでください。器具落下によるけがの原因となります。
- ◇器具に水をかけたり、水中につけたりしないでください。感電、火災の原因となります。
- ◇器具の可動範囲をこえて無理に操作しないでください。不備がありますと、器具破損・落下の原因となります。
- ◇器具の使用環境温度は5～35℃、湿度85%以下の環境でご使用ください。高温、高湿度の環境で使用すると火災の原因となります。
- ◇明るく安全に使用していただくために、器具を定期的に（6ヶ月に1回程度）清掃、点検してください。
 - ・器具のネジや部品のゆるみがないか、損傷、脱落、コードの痛みがないかお調べください。
 - ・プラグ付器具は、プラグやコンセントまわりのゴミやほこりを乾いたやわらかい布で取り除いてください。
- ◇3～5年に1回は、電気工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換ください。
- ◇照明器具には寿命があります。設置後およそ8～10年経過しますと外観に異常が無くても内部の劣化は進行しています。必ず点検・交換をしてください。
点検せずに長時間使い続けると感電・火災・発熱・性能劣化のおそれがあります。
(使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3,000時間点灯。JIS C8105-1解説による)
- ◇周囲温度が高い場合、連続点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。